

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	令和6年度MMSによる3次元点群データ活用検討業務
業 務 概 要	3次元点群データの管理実態把握1式、3次元点群データの活用上の課題整理1式、3次元点群データの活用要件の検討1式、実施できる活用方法の検討及び試行調査1式、報告書作成1式
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 山下 尚 福岡県久留米市高野1丁目3-1
契 約 年 月 日	令和 6 年 7 月 9 日
契 約 業 者 名	(株)建設技術研究所
契 約 業 者 の 住 所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契 約 金 額	17,996,000円(税込み)
予 定 価 格	17,996,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	九州技術事務所
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履 行 期 間 (自)	令和 6 年 7 月 1 0 日
履 行 期 間 (至)	令和 7 年 3 月 1 4 日
備 考	

契約理由書

1. 業務件名 令和6年度MMSによる3次元点群データ活用検討業務
2. 履行場所 九州技術事務所
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市中央区大名2丁目4番12号
会社名：（株）建設技術研究所 九州支社
電 話：092-714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

- 1) 当該業務の目的

本業務は、MMSによる3次元点群データの利活用に向けた課題の洗い出しと活用要件の検討を行い、道路管理業務での活用の普及を目指した活用方法の検討を行う業務である。併せて、国土交通省で令和4年8月からスタートしている民間開放による異分野・異業種での活用情報を整理し、九州地整管内での新たな活用展開を検討する。

- 2) 業務の内容

本業務は、計画準備、3次元点群データの管理実態把握、3次元点群データの活用上の課題整理、3次元点群データの活用要件の検討、実施できる活用方法の検討及び試行調査、報告書作成を行うものである。

- 3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を30者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマ「MMSによる3次元点群データを道路管理業務への活用を検討するうえでの留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容が的確に記載されていること、及び評価テーマの「MMSによる3次元点群データを道路管理業務への活用を検討するうえでの留意点」に対する技術提案について、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 維持管理技術課長